

情報理工学位プログラム(博士後期課程)

専門科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OBLD500	異分野研究室インターンシップI	3	1.0	1-3	通年	随時		馬場 雪乃	理工学のいずれかの分野における先端的研究や技術開発を行う国内外の大学・研究機関・企業等に一定期間参加し、様々な情報技術の活用事例を学ぶとともに、次世代技術や次世代の研究開発能力、ヒューマンスキル等を獲得する。	02CH114と同一。
OBLD501	異分野研究室インターンシップII	3	1.0	1-3	通年	随時		馬場 雪乃	理工学のいずれかの分野における先端的研究や技術開発を行う国内外の大学・研究機関・企業等に一定期間参加し、様々な情報技術の活用事例を学ぶとともに、次世代技術や次世代の研究開発能力、ヒューマンスキル等を獲得する。「異分野研究室インターンシップI」を履修した後、さらに別の組織においてインターンシップを行う場合にはこちらを履修する。	02CH115と同一。
OBLD502	研究型インターンシップI	3	1.0	1-3	通年	随時		馬場 雪乃	先端的研究や技術開発を行う国内外の大学・研究機関・企業等に一定期間参加し、様々な情報技術の活用事例を学ぶとともに、次世代技術や次世代システムの研究開発能力、ヒューマンスキル等を獲得する。	02CH204と同一。
OBLD503	研究型インターンシップII	3	1.0	1-3	通年	随時		馬場 雪乃	先端的研究や技術開発を行う国内外の大学・研究機関・企業等に一定期間参加し、様々な情報技術の活用事例を学ぶとともに、次世代技術や次世代システムの研究開発能力、ヒューマンスキル等を獲得する。「研究型インターンシップI」を履修した後、さらに別の組織においてインターンシップを行う場合にはこちらを履修する。	02CH205と同一。
OBLD504	情報理工後期特別研究	3	6.0	1	通年	随時		情報理工学位プログラム・CS専攻担当教員	主指導教員、副指導教員の指導のもとで、研究を行うとともに、論文作成、および、研究室のセミナーにおいて研究討論を行う。	02CH001と同一。
OBLD505	情報理工後期特別演習A	2	2.0	1	通年	随時		情報理工学位プログラム・CS専攻担当教員	情報理工学に関する研究を行い、進捗状況について、約2ヶ月ごとにレポートを作成する。	02CH002と同一。
OBLD506	情報理工後期特別演習B	2	2.0	1-3	通年	随時		情報理工学位プログラム・CS専攻担当教員	研究セミナーで自身の研究内容について発表を行うとともに他の学生の発表を聴講し討論に参加する。もしくは、指導教員の了解のもと、自分の研究テーマに関連した分野の最新の研究トピックとその解法について学習する。	02CH003と同一。
OBLD507	情報理工後期特別研究s	3	3.0	1	春ABC	随時		情報理工学位プログラム・CS専攻担当教員	主指導教員、副指導教員の指導のもとで、研究を行うとともに、論文作成、および、研究室のセミナーにおいて研究討論を行う。	秋入学者、および学位PLが認めた者のみ履修可。
OBLD508	情報理工後期特別研究f	3	3.0	1	秋ABC	随時		情報理工学位プログラム・CS専攻担当教員	主指導教員、副指導教員の指導のもとで、研究を行うとともに、論文作成、および、研究室のセミナーにおいて研究討論を行う。	秋入学者、および学位PLが認めた者のみ履修可。
OBLD509	情報理工後期特別演習As	2	1.0	1	春ABC	随時		情報理工学位プログラム・CS専攻担当教員	情報理工学に関する研究を行い、進捗状況について、約2ヶ月ごとにレポートを作成する。	秋入学者、および学位PLが認めた者のみ履修可。
OBLD510	情報理工後期特別演習Af	2	1.0	1	秋ABC	随時		情報理工学位プログラム・CS専攻担当教員	情報理工学に関する研究を行い、進捗状況について、約2ヶ月ごとにレポートを作成する。	秋入学者、および学位PLが認めた者のみ履修可。
OBLD511	情報理工後期特別演習Bs	2	1.0	1-3	春ABC	随時		情報理工学位プログラム・CS専攻担当教員	研究セミナーで自身の研究内容について発表を行うとともに他の学生の発表を聴講し討論に参加する。もしくは、指導教員の了解のもと、自分の研究テーマに関連した分野の最新の研究トピックとその解法について学習する。	秋入学者、および学位PLが認めた者のみ履修可。
OBLD512	情報理工後期特別演習Bf	2	1.0	1-3	秋ABC	随時		情報理工学位プログラム・CS専攻担当教員	研究セミナーで自身の研究内容について発表を行うとともに他の学生の発表を聴講し討論に参加する。もしくは、指導教員の了解のもと、自分の研究テーマに関連した分野の最新の研究トピックとその解法について学習する。	秋入学者、および学位PLが認めた者のみ履修可。